

コーチングスキル

○講座のねらい

組織の目標達成に向けて、内在化している使命感を顕在化させるとともに「指示に対して適切に行動する職員」から「将来を見据えて自発的に行動する職員」に職員自ら変革していくためのコーチング技法を習得することにより、部下・後輩に対する指導力と組織力の強化を図る。

○対象者

係長以上の職員

○日 程

第1組 令和4年 8月17日(水) 1日間

第2組 令和4年 8月18日(木) 1日間

○会 場

自治研修センター (午前9時40分までに集合)

○予定人員

各組35名

○講 師

(一社)日本経営協会

境 英利

(令和4年度から講師変更)



○カリキュラム

午 前	午 後
(9:50~10:00) ・オリエンテーション (10:00~12:00) ・オリエンテーション ① 人間は失敗から学べる ~講師の失敗連続な過去を通して~ ・コーチング概要 ① コーチング概論とコミュニケーションの基本解説 ・コミュニケーションはキャッチボール® ① 話しかけやすい人とそうでない人の違いとは何か? ② どのようにすることが、関わりやすい人間関係を形成する要素となっているのか?	(13:00~16:00) ・相手別コミュニケーションとは? ① 部下後輩をはじめ、同僚・上司、市民や関係団体等と、どのように信頼関係を築くのか ② 「見分け方・対処の仕方・言葉の選び方」について体験し、良好な人間関係の構築とチームワーク力を高める。 ・コーチング実践 ① コーチングフローを知る ② アドバイスと提案の使い分け実践 ※三人組で実技中にフィードバックを 実際の課題をテーマにした訓練 (16:00~) ・閉講

【令和2年度受講生のアンケートから

※ 令和3年度は研修を中止したため、前年度分を掲載

- 係員が前向きな姿勢で仕事に取り組むためには、リーダーとしてどのようなことを心がければよいか学びたくて受講した。
- 特に相手との信頼関係の構築が重要だと感じた。自らが心を開き自己開示することで本音で対話できるということを学んだ。
- 「行動しないと成果はなく、目標がないと行動しない」現在の状況を表していると思い、仕事(部下)への取り組む姿勢を見直さないといけないと強く考えさせられた。